

平成30年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報				
事務事業名		後期高齢者医療特別会計繰出金		担当課 国保年金課
総合計画	政策	健やかに暮らせるまち		計画期間 年度～
	施策	社会保障の健全運営		種別 法定事務
	基本事業	後期高齢者医療制度の健全な運営		市民協働
予算科目コード		01-030104-60	根拠法令・条例等	高齢者の医療の確保に関する法律

なぜ、この事業を実施しているか？ 何をどうするための事業か？	
背景（なぜ始めたのか）	内容（何の業務活動をどのような手法で行うか）
一般会計と特別会計の間において経費を支出するため行っている。	一般会計から後期高齢者医療特別会計に事務費の補助として支出する。 。
目的及び期待する効果（誰（何）をどうしたいのか）	
後期高齢者医療事業の健全な運営を進める。	
（参考）基本事業の目指す姿	
茨城県後期高齢者医療広域連合と連携し、高齢者の医療サービスの維持・向上に努める。	

事業の課題認識，改善の視点（次年度にどう取り組むか）	
目的達成のための課題（問題点，現状分析，課題設定）	具体的内容とスケジュール
改善内容（課題解決に向けた解決策）	
次年度のコストの方向性（→その理由）	
☐ 増加 ☐ 維持 ☐ 削減	

H29年度の評価（課題）を受けて、どのように取り組んだか（H30年度の振り返り）	
H29年度の評価（課題）	H30年度の実績（評価、課題への対応）

評価（指標の推移、今後の方向性）					
指標名	基準値（H26）	H29年度	H30年度	R01年度	目標値（R03）
	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
成果の動向（→その理由）					
☐ 向上 ☐ 横ばい ☐ 低下					
今後の事業の方向性（→その理由）					
☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 維持 ☐ 改善・効率化 ☐ 統合 ☐ 廃止・終了					

コストの推移						
項目		H28年度決算	H29年度決算	H30年度決算	R01年度予算	R02年度見込
事業費	計	92,507	96,128	103,305	106,428	106,428
	国・県支出金	45,156	46,340	51,850	53,452	53,452
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	50,649	26,803	26,803
	一般財源	47,351	49,788	806	26,173	26,173
正職員人工数（時間数）		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
正職員人件費		0	0	0	0	0
トータルコスト		92,507	96,128	103,305	106,428	106,428

平成30年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報				
事務事業名		後期高齢者医療広域連合負担金		担当課
総合計画	政策	健やかに暮らせるまち		計画期間
	施策	社会保障の健全運営		種別
	基本事業	後期高齢者医療制度の健全な運営		市民協働
予算科目コード		01-030104-01 単独	根拠法令・条例等	後期高齢者医療の確保に関する法律

なぜ、この事業を実施しているか？ 何をどうするための事業か？	
背景（なぜ始めたのか）	内容（何の業務活動をどのような手法で行うか）
老人保健制度に代わる制度として、平成20年4月に後期高齢者医療制度が創設され、広域連合の組織を運営維持するための共通経費及び医療給付費の公費負担分について、市が負担することとなった。	後期高齢医療制度の財源は、公費（国、県、市）50％、高齢者の保険料10％、若年者の保険料40％により賄われており、このうち、公費で賄う市負担金は、均等割、人口割、高齢者人口割及び市町村窓口端末機器負担金からなる広域連合共通経費と後期高齢者医療給付費の見込額の合計となっている。内訳 広域連合共通経費 17,417千円 後期高齢者医療給付費 308,169千円
目的及び期待する効果（誰（何）をどうしたいのか）	
茨城県後期高齢者医療広域連合の円滑な財政運営を図る。	
（参考）基本事業の目指す姿	
茨城県後期高齢者医療広域連合と連携し、高齢者の医療サービスの維持・向上に努める。	

事業の課題認識、改善の視点（次年度にどう取り組むか）	
目的達成のための課題（問題点、現状分析、課題設定）	具体的内容とスケジュール
改善内容（課題解決に向けた解決策）	
次年度のコストの方向性（→その理由）	
☐ 増加 ☐ 維持 ☐ 削減	

H29年度の評価（課題）を受けて、どのように取り組んだか（H30年度の振り返り）	
H29年度の評価（課題）	H30年度の実績（評価、課題への対応）

評価（指標の推移、今後の方向性）					
指標名	基準値（H26）	H29年度	H30年度	R01年度	目標値（R03）
	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
成果の動向（→その理由）					
☐ 向上 ☐ 横ばい ☐ 低下					
今後の事業の方向性（→その理由）					
☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 維持 ☐ 改善・効率化 ☐ 統合 ☐ 廃止・終了					

コストの推移						
項目		H28年度決算	H29年度決算	H30年度決算	R01年度予算	R02年度見込
事業費	計	319,792	343,580	385,362	381,098	381,098
	国・県支出金	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
	一般財源	319,792	343,580	385,362	381,098	381,098
正職員人工数（時間数）		10.00	0.00	0.00	0.00	0.00
正職員人件費		41	0	0	0	0
トータルコスト		319,833	343,580	385,362	381,098	381,098

平成30年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報				
事務事業名		一般事務費（後期高齢者医療特別会計）		担当課
総合計画	政策	健やかに暮らせるまち		計画期間
	施策	社会保障の健全運営		種別
	基本事業	後期高齢者医療制度の健全な運営		市民協働
予算科目コード		09-010101-01 単独	根拠法令・条例等	後期高齢者医療の確保に関する法律

なぜ、この事業を実施しているか？ 何をどうするための事業か？	
背景（なぜ始めたのか）	内容（何の業務活動をどのような手法で行うか） 後期高齢者医療被保険者への、保険証の年次更新事務（7月中旬郵送）及び75歳年齢到達により後期高齢者保険加入者へ保険証の発送、発行の事務を行う。
75歳（一定の障がいのある方は65歳）以上の高齢者は、医療保険制度となる「後期高齢者医療制度」に加入し、医療を受ける。茨城県に置いては、茨城県後期高齢者医療広域連合が保険者としての役割を担い市は申請等の窓口や保険料の徴集をおこなっている。	
目的及び期待する効果（誰（何）をどうしたいのか）	
後期高齢者医療に関する事務を円滑に行う。	
（参考）基本事業の目指す姿	
茨城県後期高齢者医療広域連合と連携し、高齢者の医療サービスの維持・向上に努める。	

事業の課題認識、改善の視点（次年度にどう取り組むか）	
目的達成のための課題（問題点、現状分析、課題設定）	具体的内容とスケジュール
改善内容（課題解決に向けた解決策）	
次年度のコストの方向性（→その理由）	
☐ 増加 ☐ 維持 ☐ 削減	

H29年度の評価（課題）を受けて、どのように取り組んだか（H30年度の振り返り）	
H29年度の評価（課題）	H30年度の実績（評価、課題への対応）

評価（指標の推移、今後の方向性）					
指標名	基準値（H26）	H29年度	H30年度	R01年度	目標値（R03）
	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
成果の動向（→その理由）					
☐ 向上 ☐ 横ばい ☐ 低下					
今後の事業の方向性（→その理由）					
☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 維持 ☐ 改善・効率化 ☐ 統合 ☐ 廃止・終了					

コストの推移						
項目		H28年度決算	H29年度決算	H30年度決算	R01年度予算	R02年度見込
事業費	計	3,458	3,771	3,787	4,278	4,278
	国・県支出金	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	3,458	3,398	3,787	4,278	4,278
	一般財源	0	373	0	0	0
正職員人工数（時間数）		1,521.00	0.00	0.00	0.00	0.00
正職員人件費		6,236	0	0	0	0
トータルコスト		9,694	3,771	3,787	4,278	4,278

平成30年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報				
事務事業名		後期高齢者医療保険料徴収経費		担当課
総合計画	政策	健やかに暮らせるまち		計画期間
	施策	社会保障の健全運営		種別
	基本事業	後期高齢者医療制度の健全な運営		市民協働
予算科目コード		09-010201-01 単独	根拠法令・条例等	高齢者の医療の確保に関する法律

なぜ、この事業を実施しているか？ 何をどうするための事業か？	
背景（なぜ始めたのか）	内容（何の業務活動をどのような手法で行うか） 被保険者へ納付書等の送付，収納管理及び徴収等を行う。徴収は，納付書等での納付となる普通徴収（7月から翌年2月までの8期）と年金天引きとなる特別徴収（4月，6月，8月，10月，12月，2月の6期）の2通りの支払方法により徴収する。
老人保健制度に代わる制度として，平成20年4月に後期高齢者医療制度が創設され，後期高齢者医療保険料徴収業務を市町村が行うこととなった。	
目的及び期待する効果（誰（何）をどうしたいのか）	
後期高齢者医療保険財政の財源を確保する。	
（参考）基本事業の目指す姿	
茨城県後期高齢者医療広域連合と連携し，高齢者の医療サービスの維持・向上に努める。	

事業の課題認識，改善の視点（次年度にどう取り組むか）	
目的達成のための課題（問題点，現状分析，課題設定）	具体的内容とスケジュール
収納率は県内上位であり，特別徴収については100％であるが，普通徴収に対しては未納が発生しているため，対策が必要である。	①7月の保険証送付時及び保険料本算定納入書送付時に，口座振替 替手続き案内文を同封する。 ②11月 面談できていない滞納者に対し，臨戸訪問を実施。 ③滞納者に対し，短期保険証を交付し，面談の機会をつくる。 ④通年 保険料随時分を送付時に，口座振替手続案内文を同封。 ⑤納期限の1箇月後に督促状を送付する。電話催告及び催告状の送付も行う。
改善内容(課題解決に向けた解決策)	
現在の収納率を維持するため，引き続き滞納整理等の収納対策を実施する。 また本年度から，1年以上滞納のある2件の悪質滞納者に対し，臨戸訪問を実施し，滞納整理の強化を図っている。2件とも納付相談に繋がった。	
次年度のコストの方向性（→その理由）	
☐増加 ☒維持 ☐削減	保険料を徴収するための最低限の費用であり，現状維持とする。また，引き続き滞納整理の強化を図る。

H29年度の評価（課題）を受けて、どのように取り組んだか（H30年度の振り返り）	
H29年度の評価（課題）	H30年度を取組（評価、課題への対応）
収納率は100％に近い状況であり，県内順位も上位に位置している。 数件（数人）の未納がある。	現在の収納率を維持するために，短期保険証の交付による納付相談の 機会の確保及び長期滞納者で納付相談がない者に対し，臨戸訪問を 実施。 また，現年度の未納を防ぐために，口座振替手続きについて窓口で のご案内や，保険証発送時と納入通知書発送時に案内文を同封するな どして，積極的な勧奨を行った。

評価（指標の推移、今後の方向性）					
指標名	基準値（H26）	H29年度	H30年度	R01年度	目標値（R03）
後期高齢者医療保険料の現年度収納率	99.70	99.56	99.63	99.53	99.56
	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
成果の動向（→その理由）					
☐ 向上 ☒ 横ばい ☐ 低下	収納率は県内上位であり，特別徴収については100％であるが，普通徴収に対しては未納が発生しているため，対策が必要である。				
今後の事業の方向性（→その理由）					
☐ 拡大 ☐ 縮小 ☒ 維持	☐ 改善・効率化 ☐ 統合 ☐ 廃止・終了	保険料を徴収するための最低限の費用であり，現状維持とする。また，新たに後期高齢者医療保険へ加入し未納がある者に対し，電話による納付勧奨及び口座振替の案内を行う。			

コストの推移						
項目		H28年度決算	H29年度決算	H30年度決算	R01年度予算	R02年度見込
事業費	計	3,330	3,397	3,463	3,632	3,652
	国・県支出金	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	3,330	3,397	3,463	3,632	3,652
	一般財源	0	0	0	0	0
正職員人工数（時間数）		1,222.00	329.00	1,197.00	0.00	0.00
正職員人件費		5,010	1,349	4,997	0	0
トータルコスト		8,340	4,746	8,460	3,632	3,652

平成30年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報				
事務事業名		後期高齢者医療広域連合納付金		担当課
総合計画	政策	健やかに暮らせるまち		計画期間
	施策	社会保障の健全運営		種別
	基本事業	後期高齢者医療制度の健全な運営		市民協働
予算科目コード		09-020101-01 単独	根拠法令・条例等	後期高齢者医療の確保に関する法律

なぜ、この事業を実施しているか？ 何をどうするための事業か？	
背景（なぜ始めたのか）	内容（何の業務活動をどのような手法で行うか） 被保険者が納付した保険料等を茨城県後期高齢者医療広域連合に納付する。また、保険料軽減措置により減額された保険料を保健基盤安定制度により公費（県3/4，市1/4）で補填し納付する（保険基盤安定納付金）。
老人保健制度に代わる制度として、平成20年4月に後期高齢者医療制度が創設され、市は被保険者が納付した保険料等を茨城県後期高齢者医療広域連合に納付することとなった。	
目的及び期待する効果（誰（何）をどうしたいのか）	
茨城県後期高齢者医療広域連合の健全な財政運営を図る。	
（参考）基本事業の目指す姿	
茨城県後期高齢者医療広域連合と連携し、高齢者の医療サービスの維持・向上に努める。	

事業の課題認識、改善の視点（次年度にどう取り組むか）	
目的達成のための課題（問題点，現状分析，課題設定）	具体的内容とスケジュール
改善内容(課題解決に向けた解決策)	
次年度のコストの方向性（→その理由）	
☐ 増加 ☐ 維持 ☐ 削減	

H29年度の評価（課題）を受けて、どのように取り組んだか（H30年度の振り返り）	
H29年度の評価（課題）	H30年度の実績（評価、課題への対応）

評価（指標の推移、今後の方向性）					
指標名	基準値（H26）	H29年度	H30年度	R01年度	目標値（R03）
	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
成果の動向（→その理由）					
☐ 向上 ☐ 横ばい ☐ 低下					
今後の事業の方向性（→その理由）					
☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 維持 ☐ 改善・効率化 ☐ 統合 ☐ 廃止・終了					

コストの推移						
項目		H28年度決算	H29年度決算	H30年度決算	R01年度予算	R02年度見込
事業費	計	439,601	484,394	530,752	530,752	530,752
	国・県支出金	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	439,601	445,181	499,289	530,752	530,752
	一般財源	0	39,213	31,463	0	0
正職員人工数（時間数）		15.00	0.00	0.00	0.00	0.00
正職員人件費		62	0	0	0	0
トータルコスト		439,663	484,394	530,752	530,752	530,752

平成30年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報				
事務事業名		保険料還付金	担当課	国保年金課
総合計画	政策	健やかに暮らせるまち	計画期間	平成20年度～
	施策	社会保障の健全運営	種別	法定事務
	基本事業	後期高齢者医療制度の健全な運営	市民協働	
予算科目コード	09-030101-01 単独	根拠法令・条例等	後期高齢者医療の確保に関する法律	

なぜ、この事業を実施しているか？ 何をどうするための事業か？	
背景（なぜ始めたのか）	内容（何の業務活動をどのような手法で行うか）
前年度会計以前に納付された，保険料の過誤納金の還付	前年度会計以前に納付された，保険料の過誤納還付金を該当の被保険者に連絡をとり，指定口座または窓口で直接還付する。
目的及び期待する効果（誰（何）をどうしたいのか）	
保険料の過誤納を減らす。	
（参考）基本事業の目指す姿	
茨城県後期高齢者医療広域連合と連携し，高齢者の医療サービスの維持・向上に努める。	

事業の課題認識，改善の視点（次年度にどう取り組むか）	
目的達成のための課題（問題点，現状分析，課題設定）	具体的内容とスケジュール
改善内容（課題解決に向けた解決策）	
次年度のコストの方向性（→その理由）	
☐ 増加 ☐ 維持 ☐ 削減	

H29年度の評価（課題）を受けて、どのように取り組んだか（H30年度の振り返り）	
H29年度の評価（課題）	H30年度の実績（評価、課題への対応）

評価（指標の推移、今後の方向性）					
指標名	基準値（H26）	H29年度	H30年度	R01年度	目標値（R03）
	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
成果の動向（→その理由）					
☐ 向上 ☐ 横ばい ☐ 低下					
今後の事業の方向性（→その理由）					
☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 維持 ☐ 改善・効率化 ☐ 統合 ☐ 廃止・終了					

コストの推移						
項目		H28年度決算	H29年度決算	H30年度決算	R01年度予算	R02年度見込
事業費	計	326	287	488	400	400
	国・県支出金	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	326	400	310	400	400
	一般財源	0	-113	178	0	0
正職員人工数（時間数）		18.00	0.00	0.00	0.00	0.00
正職員人件費		74	0	0	0	0
トータルコスト		400	287	488	400	400

平成30年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報				
事務事業名		還付加算金	担当課	国保年金課
総合計画	政策	健やかに暮らせるまち	計画期間	平成21年度～
	施策	社会保障の健全運営	種別	法定事務
	基本事業	後期高齢者医療制度の健全な運営	市民協働	
予算科目コード	09-030102-01 単独	根拠法令・条例等	後期高齢者医療の確保に関する法律	

なぜ、この事業を実施しているか？ 何をどうするための事業か？	
背景（なぜ始めたのか）	内容（何の業務活動をどのような手法で行うか）
被保険者が納付した保険料の還付過誤納金について、納付額や納付時期に応じて保険料に加算して還付する。	被保険者が納付した保険料の還付過誤納金について、納付者と連絡を取り、納付額や納付時期に応じて保険料に加算して還付する。
目的及び期待する効果（誰（何）をどうしたいのか）	
保険料の還付過誤納金を減らす。	
（参考）基本事業の目指す姿	
茨城県後期高齢者医療広域連合と連携し、高齢者の医療サービスの維持・向上に努める。	

事業の課題認識、改善の視点（次年度にどう取り組むか）	
目的達成のための課題（問題点、現状分析、課題設定）	具体的内容とスケジュール
改善内容（課題解決に向けた解決策）	
次年度のコストの方向性（→その理由）	
☐増加 ☐維持 ☐削減	

H29年度の評価（課題）を受けて、どのように取り組んだか（H30年度の振り返り）	
H29年度の評価（課題）	H30年度の実績（評価、課題への対応）

評価（指標の推移、今後の方向性）					
指標名	基準値（H26）	H29年度	H30年度	R01年度	目標値（R03）
	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
成果の動向（→その理由）					
☐ 向上 ☐ 横ばい ☐ 低下					
今後の事業の方向性（→その理由）					
☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 維持 ☐ 改善・効率化 ☐ 統合 ☐ 廃止・終了					

コストの推移						
項目		H28年度決算	H29年度決算	H30年度決算	R01年度予算	R02年度見込
事業費	計	6	12	3	80	80
	国・県支出金	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	6	80	3	80	80
	一般財源	0	-68	0	0	0
正職員人工数（時間数）		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
正職員人件費		0	0	0	0	0
トータルコスト		6	12	3	80	80

平成30年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報				
事務事業名		一般会計繰出金（後期高齢者医療特別会計）		担当課 国保年金課
総合計画	政策	健やかに暮らせるまち		計画期間 平成20年度～
	施策	社会保障の健全運営		種別 法定事務
	基本事業	後期高齢者医療制度の健全な運営		市民協働
予算科目コード		09-030201-01 単独	根拠法令・条例等	後期高齢者医療の確保に関する法律

なぜ、この事業を実施しているか？ 何をどうするための事業か？	
背景（なぜ始めたのか）	内容（何の業務活動をどのような手法で行うか） 前年度の精算に伴い、一般会計繰入金の余剰金を一般会計に返戻するため。
前年度の精算に伴い、一般会計繰入金の余剰金を一般会計に返戻するため。	
目的及び期待する効果（誰（何）をどうしたいのか）	
前年度の精算に伴い、一般会計繰入金の余剰金を一般会計に返戻するため。	
（参考）基本事業の目指す姿	
茨城県後期高齢者医療広域連合と連携し、高齢者の医療サービスの維持・向上に努める。	

事業の課題認識、改善の視点（次年度にどう取り組むか）	
目的達成のための課題（問題点、現状分析、課題設定）	具体的内容とスケジュール
改善内容（課題解決に向けた解決策）	
次年度のコストの方向性（→その理由）	
☐ 増加 ☐ 維持 ☐ 削減	

H29年度の評価（課題）を受けて、どのように取り組んだか（H30年度の振り返り）	
H29年度の評価（課題）	H30年度の実績（評価、課題への対応）

評価（指標の推移、今後の方向性）					
指標名	基準値（H26）	H29年度	H30年度	R01年度	目標値（R03）
	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
成果の動向（→その理由）					
☐ 向上 ☐ 横ばい ☐ 低下					
今後の事業の方向性（→その理由）					
☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 維持 ☐ 改善・効率化 ☐ 統合 ☐ 廃止・終了					

コストの推移						
項目		H28年度決算	H29年度決算	H30年度決算	R01年度予算	R02年度見込
事業費	計	1,567	1,746	1,394	1	1
	国・県支出金	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
	一般財源	1,567	1,746	1,394	1	1
正職員人工数（時間数）		3.00	0.00	0.00	0.00	0.00
正職員人件費		12	0	0	0	0
トータルコスト		1,579	1,746	1,394	1	1

平成30年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報				
事務事業名		予備費（後期高齢者医療特別会計）		担当課
総合計画	政策	健やかに暮らせるまち		計画期間
	施策	社会保障の健全運営		種別
	基本事業	後期高齢者医療制度の健全な運営		市民協働
予算科目コード		09-040101-01 単独	根拠法令・条例等	後期高齢者医療の確保に関する法律

なぜ、この事業を実施しているか？ 何をどうするための事業か？	
背景（なぜ始めたのか）	内容（何の業務活動をどのような手法で行うか）
後期高齢者医療特別会計の不足または予想外の支出に備えるため。	後期高齢者医療特別会計において、予定した経費の不足または予想外の経費の支出に備える経費。
目的及び期待する効果（誰（何）をどうしたいのか）	
後期高齢者医療特別会計において、予定した経費の不足または予想外の経費の支出に備える経費。	
（参考）基本事業の目指す姿	
茨城県後期高齢者医療広域連合と連携し、高齢者の医療サービスの維持・向上に努める。	

事業の課題認識、改善の視点（次年度にどう取り組むか）	
目的達成のための課題（問題点、現状分析、課題設定）	具体的内容とスケジュール
改善内容（課題解決に向けた解決策）	
次年度のコストの方向性（→その理由）	
☐ 増加 ☐ 維持 ☐ 削減	

H29年度の評価（課題）を受けて、どのように取り組んだか（H30年度の振り返り）	
H29年度の評価（課題）	H30年度の実績（評価、課題への対応）

評価（指標の推移、今後の方向性）					
指標名	基準値（H26）	H29年度	H30年度	R01年度	目標値（R03）
	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
成果の動向（→その理由）					
☐ 向上 ☐ 横ばい ☐ 低下					
今後の事業の方向性（→その理由）					
☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 維持 ☐ 改善・効率化 ☐ 統合 ☐ 廃止・終了					

コストの推移						
項目		H28年度決算	H29年度決算	H30年度決算	R01年度予算	R02年度見込
事業費	計	0	0	1,000	1,000	1,000
	国・県支出金	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	1,000	1,000	1,000
	一般財源	0	0	0	0	0
正職員人工数（時間数）		3.00	0.00	0.00	0.00	0.00
正職員人件費		12	0	0	0	0
トータルコスト		12	0	1,000	1,000	1,000